

研究課題名「小児におけるテイコプラニンの母集団薬物動態解析」に関する 情報公開

1. 研究の対象

2010年4月1日～2016年3月31日の間に、名古屋大学医学部附属病院で抗生剤であるテイコプラニンを使用し、血液中の濃度測定を行った2～18歳の方。

2. 研究目的・方法

【目的】メチシリン耐性黄色ブドウ球菌（MRSA）は多くの抗生剤に耐性を示します。使用できる限られた薬の中でも、テイコプラニンは血液の濃度を測定しパソコンで解析をすることで、有効かつ副作用が少ない投与量を設定する薬剤です。しかし、テイコプラニンは小児での研究が乏しいためパソコンソフトが小児には対応していません。小児用のソフトを作成するためには、まず、小児にテイコプラニンを使用した際の分布容積（薬が体内で溶けて広がっている容積）、クリアランス（薬が消えていく速さ）などを知る必要があります。これを薬物母集団解析といいます。解析ソフトの作成を目指し、2～18歳の小児において、テイコプラニンの各パラメータを知ることが本研究の目的となります。

【方法】薬物母集団解析ソフトであるPhoenix NLMEを用いて、各パラメータを求めます。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

血液の濃度を測定した時の年齢、性別、体重、身長、血清クレアチニン（腎機能を評価する検査値）、透析の有無、血液腫瘍の有無、テイコプラニンを投与した量と時間、血液のテイコプラニン濃度 等。

過去のデータを調べる研究であるため、新規での血液採取、問診、検査などは行いません。

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

しかしながら解析終了後または学会・論文での発表後には、データを削除できないことがあります。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

名古屋大学医学部附属病院 薬剤部

研究担当者名；宮川 泰宏

住所 名古屋市昭和区鶴舞町 65

電話 052-744-2680

研究責任者：

名古屋大学医学部附属病院 薬剤部

研究責任者名；山田 清文

住所 名古屋市昭和区鶴舞町 65

電話 052-744-2681

FAX 052-744-2685